

2006年8月4日

エコロジー研究会
会長 井上 健雄



暑中お見舞い申し上げます 忙中閑あり版

In the utter silence of a temple, a cicada's voice alone penetrates the rocks.

これじゃ情緒ありませんかね。日本語の、

閑かさや 岩にしみ入る 蝉の声 (芭蕉)

これじゃなきゃいけません。

最近、私の通勤途上には、難聴になるほどのクマゼミが「ジャンジャンジャージャンジャンジャン」と合奏しています。

蝉瀑布 吹き出る汗も 大瀑布 (タケオ)

でもしばらくは我慢せざるを得ませんかね。

7年も土の中にいて、300個の卵から成虫になるのはほんの一部。その上2週間で命を閉じる前の求愛の声なのですから……

芭蕉の「閑かさや」とは、どんな蝉なんでしょうか。

〔問い合わせ〕 つまり蝉は何ゼミでしょうか。

〔論争〕 これについて有名な論争があります。歌人で精神科医の斎藤茂吉の主張するアブラゼミと、夏目漱石の門下生の小宮豊隆のニイニイゼミとが対立しました。茂吉は山形出身であるので、山寺立石寺(りゅうしゃくじ)にも詳しく、譲りませんでした。

〔調査〕 そこで芭蕉の日記から、この句の詠まれた日を特定しました。旧暦5月27日、新暦だと7月13日になります。東北大に依頼し、雨などで順延もありましたが、調査をしました。

〔結果〕 この頃には、アブラゼミの出現はなく、ニイニイゼミに落ち着いた訳です。

これについて、ドナルド・キーンさんは、

Shizukasa ya iwa ni shimiiru semi no koe

iが多用されており、ニイニイゼミだろうと言っています。

私はこれを、夕方から「かなかな……かなかな……」と鳴く蜩(ひぐらし)かなと思うのですが……

これは初秋に出現する種なので、論争になれば負けるでしょう。でも意味的にはこれなんです。

挨拶はこの辺で。えらい中途半端やなあ。

セミ(半・略式)ということでお許しを

プログラム

(第一部)	
1 14:00~14:15	会長挨拶 井上 健雄(エコロジー研究会会長)
2 14:15~15:15	「第三者評価は時代のソリューション」 郡嶌 孝 氏(同志社大学 経済学部 教授)
3 15:15~15:30	コーヒーブレイク
4 15:30~16:15	「いこいのトマト」 宮武 和孝 氏(大阪府立大学大学院 農学生命科学研究科 教授)
5 16:15~16:45	「CSR教育は会社に何を齎したか」 田中 博和 氏(イズミヤカード株式会社 専務取締役)
6 16:45~17:15	「内部統制のあり方」 口井 一隆 氏(日本原燃株式会社 考査室 考査部 考査グループリーダー課長)
7 17:15~17:30	「ポリ乳酸容器の今後」 山内 利行 氏(リスパック株式会社 技術開発本部 環境対策部 部長)
8 17:30~17:45	「消費者との地道な対話でリサイクル商品新市場を創生」 歌島 秀明 氏(株式会社エフピコ 環境対策室 室長)
9 17:45~18:00	会員最新報告
(第二部)	
18:00~20:00	共感ディナー さあ、共感ディナーで私たちの人生を加速させようではありませんか！

開催日時

2006年9月15日(金)

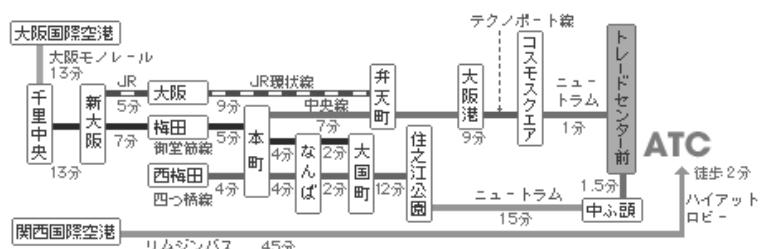
第一部 14:00~18:00 (開場 13:30)

第二部 18:00~20:00

* 費用は年会費で充当致します。会員企業はお二人まで無料招待させて戴きます。お誘い併せて
お越しください。ゲストスピーカー、招待者の方々は、人格の香りと最新の情報が参加費となります。

開催場所

第一部 ATCビルITM棟12F
セミナールーム
(大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビルITM棟12階)
第二部 ピア6(ATCビルITM棟 6F)



エコロジー研究会 会員様 賛同者様 各位

エコロジー研究会のご案内

盛夏の候、いかがお過ごしでしょうか。
今回のエコロジー研究会は「経営戦略のあれこれ」がテーマです。
ご多忙とは存じますが、ぜひご参加戴ければと思います。

日時：9月15日（金） 14：00～18：00（予定）
場所：ATCビルITM棟12階セミナールーム

ご出欠確認票（FAX用）

エコロジー研究会事務局行き

FAX：06-6614-1801

貴社名/個人名

締め切り：2006年9月2日（土）までにご返事頂きますよう宜しくお願い致します。

ご氏名	ご役職	E-mail	研究会	懇親会
			出・欠	出・欠
			出・欠	出・欠
			出・欠	出・欠

近況・メッセージ・PR等

